

2026年8月2日開催(INかつしかシンフォニーヒルズ)

<東日本フィットネス選手権大会前日計測について>

***前日計測 8月1日(土)18:00～19:30**

***場所:かつしかシンフォニーヒルズ別館:メヌエット・ローレル**

***持参するもの:競技用コスチューム・アクセサリー・サンダルなど**

***受付の際は、2026年度選手登録証・アンチドーピング講習会受講証(毎年受講が義務付けられています)をご提示ください。**

(画像をスクリーンショットまたはプリントしてお持ちください。)

東京ポティビル・フィットネス連盟

2026年8月2日開催

<東日本フィットネス選手権大会選手受付について>

<1 部>(9:00~9:30)*場所:モーツァルトホール入口

9:00~ マスターズ メンズフィジーク (40歳以上172cm以下・172cm超、50歳以上)

9:15~ マスターズ ビキニフィットネス (35歳以上、40歳以上、45歳以上、50歳以上)

<2 部>(11:30~12:30)*場所:モーツァルトホール向いのギャラリー

11:30~ボディフィットネス (158cm以下、163cm以下、163cm超) ウエルネス (オーバーオール)

11:45~ウィメンズフィットモデル (158cm以下、163cm以下、163cm超)

12:00~メンズフィットモデル オープンオーバーオール)

<3 部>(14:00~14:45)*場所:モーツァルトホール向いのギャラリー

14:00~メンズフィジーク (168cm以下、172cm以下、176以下、180cm以下、180cm超)

16:00~ ビキニフィットネス (158cm以下、163cm以下、163cm超)

*** 受付の際は、2026年度選手登録証・アンチドーピング講習会受講証(毎年受講が義務付けられています)をご提示ください。**

東京ボディビル・フィットネス連盟

<選手受付後の流れ>

- 1 選手受付にて、2026年度選手登録証・アンチドーピング講習受講証明を提示し(スクリーンショットしておくともスムーズです)ゼッケン・リストバンド・参加記念品・プログラムを受け取る。(リストバンドはすぐに左腕につけます。)
- 2 ホール舞台裏・楽屋へ移動
- 3 コスチュームに着替え、カラー・オイル・コスチュームチェックを受ける準備をしてお待ち下さい。(ゼッケンは左)
- 4 審査員によるチェックが終了したら、競技時間に合わせて、選手誘導役員が声掛けします。それまで、お待ちください。(選手招集時に居ない場合、失格となることもあります。ご注意ください。)
- 5 2部・3部の選手はギャラリーで受付後、その場で待機します。
- 6 2部・3部の選手は、ギャラリーにてコスチュームに着替え、カラー・オイル・コスチュームチェックを受ける準備をしてお待ち下さい。(ゼッケンは左)
- 7 随時選手誘導役員の指示ですべての荷物をもって、本館に移動します。(役員がお声がけします)
- 8 その他わからないことなどは、運営役員にお声がけください。
- 9 競技を終了した選手は、リストバンドを見せることにより出店ブースに立ち寄ることが出来ます。ただし、客席へはチケット購入した方のみになります。(競技を終えた選手は2階席にて観戦することが出来ます。)

<コスチュームについて>

当日までに、出場するカテゴリーのコスチューム規程を確認しましょう。規定に合わない場合は、審査に影響が出る場合もあります。

<男子競技>

メンズフィジーク コスチュームチェック時の注意点

<着用コスチュームの形を今一度ご確認ください。>

OK

OK

NG

NG

<膝のお皿の上付近に触れる長さ、サイドの隙間は指2本入る。>

<丈が短すぎたり、太ももにピッタリフィットするもの>

短い場合はこのように修正



女子コスチュームについて

JBBF 女子コスチューム一覧表

2025.2 改訂版

	女子フィジーク	ボディフィットネス	ビキニフィットネス	フィットネス
	生地の色・柄は自由	生地の色・素材・デザインは自由		
コスチューム	JBBF 公認コスチューム JBBF タグ付き  モールドカップ・ワイヤー入りは不可。サイド部分の紐は一本のみとする 全面ストーン装飾可 (2022 改定) 細部分も装飾可 (2023 改定)	全てのコネクター不可 (首・パンツ脇・胸紐)  ボトム縦紐はヘソから股間部の 45% 以上覆う 骨部の 1/2 以上覆い、お尻の割れ目が見えてはいけない	コネクター・チェーン不可 (首・パンツ脇・胸紐) ひも部分は全て布製 (別途コネクター可)  ボトム縦紐はヘソから股間部の 40% 以上覆う 骨部の 1/3 以上覆い、お尻の割れ目が見えてはいけない	※ビキニアップ・決勝はビキニ・ハイヒール着用 2023 年よりコスチューム規定はビキニフィットネスカテゴリーに準ずる (ボディフィットネスカテゴリーに準ずるから変更) ※パフォーマンスラウンドは自由なコスチュームとシューズ着用 (検定可)
				フィットモデル ※別紙参照 ウェルネス ビキニフィットネスと同様であるが、ボトムは骨部の 1/2 以上覆うこと
*クロッチ (股) 部分は両側の付け根まで完全に覆うこと (— 部分) *コスチュームの原型イメージを崩す装飾をしてはいけない (フリル・レース・リボン等) *当日のコスチュームチェックを受けた 2 着まで替えることができるが、決勝と表彰式は同じものを着用すること 【女子フィジーク公認コスチュームメーカー】 フィットビート アヴィオンアトリエ				
アクセサリ	※頭髪・身体ともにラメ入りのスプレー、ジェル、グリッター、ローション等の使用不可 ピアス・イヤリングは喉の長さを超えないもの プレスレットは合計幅 2 cm 以内 (本数は問わない) ※ビキニアップ・予選・決勝ともに装着可 (2022 改定) ※ネックレス・ヘソピアス・アングレット・指輪は不可			
サンダル	※ヘア・身体ともにラメ入りのスプレー、ジェル、グリッター、ローション等の使用不可 ピアス・プレスレット・指輪・ヘソピアスは本人のセンスにより自由 ※ネックレス・アングレットは不可 過度に大きなもの、目立ちすぎるものは、審査上のマイナス要因となる場合がある。(全カテゴリー共通) ※審査上、支障があると思われる場合には取り外していただく場合もあります ・ヒールは 127mm 以下 (ビキニは 130mm 以下) ・厚みは 10mm 以下 (足先が乗る中央で計測) ・JBBF マークがあること ・ミュール可 (2022 改定) 【公認サンダルメーカー】 (株) ダイアナ			

<追加>

頭髪・身体ともにラメ入りのスプレー、ジェル、グリッター、ローション等の使用不可

フィットモデルコスチュームについて

2025.2 改訂版

JBBF フィットモデル コスチューム

全身のラインがきれいに見える素材・装飾が望ましい

●ワンピース水着 (スイムスーツ)



●イブニングドレス 片側スリットでボディラインがわかるタイプ (スリットは左側が望ましい)



<追加点>

首から肩にかけてのデザインはシンプルな形状を推奨します

バスト全体の約 80% を覆うこと

ドレスの裾を指先等に紐などでつけてはいけない